

# としょぶらり

## 米子高专図書館情報センター報

ISSN 1344-5634

第 77 号

平成 16 年 7 月 5 日発行  
米子工業高等専門学校  
図書館情報センター

## 図書館情報センターの設立について

校長 杉浦 哲郎

皆さんは、本年度から図書館の組織が変わったことを知っていますか。これまでの図書館とシステム化技術教育・開発センターの情報教育部門とを統合して、新しく図書館情報センターを設立しています。皆さんが図書館を利用する方法も変わっていませんし、まだ正式な看板もできていませんので、意識していない人も多いかと思いますが、このようなセンターを設立したのは、本校でも「教育の情報化」を積極的に推進して、教育や研究の高度化・活性化を図ることを目的にしています。

近年における情報技術（IT）の発展は目覚ましいものであり、今日では私たちの生活の至るところでITが活用されています。皆さんが毎日使っている携帯電話もITの集合体ですし、CD、MD、DVD等の情報機器も日常的に使っているでしょう。また、企業や学校でも、今日ではパソコンがなければ仕事ができない状況になっています。このような事情は教育の分野でも同じです。教育はもともと情報を扱う仕事ですから、むしろ他の分野よりもITとなじみやすいとも言えるでしょう。既にインターネットを利用したeラーニングが実用化されており、本校でも昨年、鳥取県と協力して高度IT人材育成に関する講習をeラーニングで実施しました。また、皆さんが何かを調べようとするときも、これまでのように文献を調べるよりもインターネットで調べるほうが多いのではないのでしょうか。

教育の分野でITを活用する利点はたくさんありますが、前述のように何かを調査する場合には時間や労力を大幅に削減することが可能になります。またデータベースが構築されていれば、網羅的な情報を利用することもできます。さらに、ネットの情報は瞬時に世界に伝わりますので、常に最新の知識・情報を手に入れることができます。このように、ITを活用することによって、教育や研究活動を効率的に行うことが可能となり、ひいては教育や研究の内容を高度化し、その活動を活性化することが期待されます。

特に図書館は、もともと情報を集積して学生や教員の利用に供する場所です。これまでは情報媒体の主体が書物でしたから図書館と言われていたわけですが、今日では電子媒体の情報が増加しています。既に電子媒体による本（電子ブック）も出現していますし、様々なデータベースは電子媒体によって集積・伝達されるようになっています。また各種の学会の学術雑誌も電子媒体によるものが増えており、最先端の研究成果を発表と同時に世界中で見ることができるようになりました。本校でも、今年度中にこのような電子ジャーナルを導入するように準備を進めています。

以上のように、これからの図書館は、書物による情報とともに電子媒体による情報を集積・活用することが求められます。そして、電子媒体による情報を十分に利用するためには、ITを活用できる部門と協力することが必要になります。既に全国の大学では図書館と大学の情報部門とを統合しているところが増えています。鳥取県内でも、鳥取大学では図書館と総合メディア基盤センターとを統合して学術情報部を設立していますし、鳥取環境大学でも図書館は情報メディアセンターの一部となっています。本校でも、図書館と情報部門を統合した図書館情報センターを設立することによって、図書館で利用できる情報を大幅に拡充するとともに新しい利用方法も開発して、「教育の情報化」をより一層推進していきたいと考えています。



## 『あの世でも続けたい仕事』

物質工学科 池田 彰

最近、読んだ本の中で印象に残った本、それがタイトルの『あの世でも続けたい仕事』（木原武一、PHP文庫）です。長年勤めた企業の研究所を退職し、米子高専に新たに転職するといった大きな変化もあって、「生きがい」や「自分にとっての仕事とは何か」といったことを真剣に考えるようになっていました。そんなとき、「いまの仕事をあの世でも続けたいと、あなたは思いますか」という筆者の問いかけに惹かれ、購入したのがこの本でした。

この本は幾つかのテーマから構成され、随所に示唆に富む考察が見られます。その一節に、「人はそれぞれ何かの仕事をもつ。仕事をもつにいたる経過はさまざまであろうが、この世で生きている限り人は仕事をもつ。それが自分の仕事なのである。本当の仕事などなく、その時に持っている仕事自分の仕事だし、それこそ本当の仕事である。けっして、自分の仕事を粗末にはいけない。仕事を粗末にすることは自分自身をそまつにすることである」と著者は言っています。今の仕事はたして来世でもやりたいといった心境まで高まるかどうかは別問題としても、仕事と向き合う心構えとして、今の自分にとって参考になる言葉だと思っています。

話は変わりますが、以前に勤めていた会社にも、「人が仕事を拓き、仕事人が人を育てる」という社訓がありました。仕事をレベルアップし、発展させるのは人であり、人は仕事を通して人格形成されます。新しい開発や施策にチャレンジし、努力に努力を重ねた結果、その分野に一石を投じることができたと感じたとき、最高の達成感を味わうことができるのだと思います。そのような醍醐味が、また新たな課題に挑戦しようとする強い意欲を生み出すのだと思います。

今、「青春」（サムエル・ウルマン—作山宗久訳）という詩を思い出しました。「・・・前文略・・・60歳であろうと16歳であろうと人の胸には驚異に惹かれる心、おさな児のような未知への探究心、人生への興味の歓喜がある。君にも吾にも見えざる<sup>えきてい</sup>駅通が心にある。人から神から美・希望・喜悅・勇気・力の靈感を受ける限り君は若い。靈感が絶え、精神が皮肉の雪におおわれ、悲嘆の氷にとどざれるとき、20歳であろうと人は老いる。頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にして已む。」

この詩は新鮮さと勇気を感じさせてくれます。私も現役として長くありませんが、新たな研究に没頭するといった醍醐味を今一度味わってみたいと思っています。



## 『火の鳥』をおいかけて

一般科目（物理）越智 信彰

手塚治虫という偉大な漫画家があったことは知っているても、手塚漫画を実際に読んだことがある高専生は、全体の10分の1、いやもっと少ないであろう。

「マンガは日本の文化である」とよく言われるが、反対に「マンガを読むことは下等だ」というイメージが世の中に蔓延していることは事実である。私も以前はマンガ文化に対して懐疑的な考えをもっており、中学生の頃以来全くと言っていいほどマンガ本を手にとった経験は無かった。しかし、手塚漫画との出会いをきっかけに、私の考えにはわずかながら修正が加えられた。「日本の文化として誇れるような漫画も、中には存在する」。

出会いは大学の研究室であった。当時大学院生だった私は、退屈な実験の合間、傍らに置いてあった『火の鳥・太陽編』を手に取り、なんとなく読み始め、そして急速に惹かれていった。なんなんだろうこの気持ちの高ぶりは！これは本当にマンガなのか？昔読んだマンガとは、根本的な何かが違う・・・当時の私は、まだ漠然とはあるが、心のどこか深遠な部分が揺さぶられるような、手塚治虫からの強烈なメッセージを感じていた。

ここで『火の鳥』という作品について、少し解説をしておく。『火の鳥』は手塚治虫自ら「ライフワーク」と呼び、手塚漫画の集大成的な作品である。物語はいくつかの編に分かれ、黎明編・未来編・宇宙編など全く異なる場面設定で独立に描かれているが、「生命」をテーマとした長い連続した一つの哲学的物語と見ることもできる。時空を超えて飛び回り、全ての生命の母である火の鳥と、その生き血を飲んで永遠の命を手に入れようとする人間達の醜いドラマが、繰り返し描かれている。

この春米子高専に来て、これまでの閉じこもった研究生生活を飛び出し、たくさんの元気溢れる学生のみなさんに囲まれてこの上ない充実感を感じている私は、ふと『火の鳥』を読み返したくなり、書店に立ち寄った。そこには以前と変わらない感動があると同時に、以前は漠然としか感じる事が出来なかった「生きる」というメッセージが、少しだけ具体的に見えたような気がした。自分も少しは人生が解りかけてきたのかな？そんな気がしたが、同時に『火の鳥』には私がまだ読み取れていない、もっと奥深いメッセージが込められているという感じがした。10年後、20年後、改めて読み返したとき、年を重ねた私はそこから何を感じ取るのだろうか？『火の鳥』をおいかけて、米子での日々を精一杯生きていこうと思います。

※漫画文化を認めるといっても、決して授業中にマンガを読む行為を認めるというわけではありませんので、あしからず。



## 時を超えた賢者との出会い

一般科目（英語） 中島美智子

「われ思う、ゆえにわれあり」という言葉で有名なルネ・デカルトは、読書についても興味深いことを述べている。「あらゆる良い本を読むことは、過去の最良の人たちと会話するようなものである」と。そこで、今回は最良の人物に値すると思われる一人、ヘンリー・デイヴィッド・ソローの名著『森の生活—ウォールデン』を紹介したい。1911年の初訳以後、現在まで15冊以上の翻訳が刊行されている。最近の新聞の新刊紹介でも、森暮らしを実践する動物学者の第一人者による新訳が紹介されていた。同一作品の新訳出版がこれほど繰り返されるのは稀有のことであろう。この事実こそが本書の魅力を物語っている。

本書は、ソローがウォールデン湖のほとりに自らの手で小屋を建て、2年2ヶ月に及ぶ晴耕雨読の生活記録である。小屋での生活を始めたのは、1845年7月4日の独立記念日である。時はアメリカが経済原理に取りつかれ始めた時代であり、彼はそのような風潮に疑問を抱き、アメリカの精神的独立を意識して、この日に森に入ったとも考えられる。彼自身は森で暮らそうと決心した理由を次のように述懐する。

私が森に行ったのは、思慮深く生き、人生の本質的な事実のみに直面し、人生が教えてくれるものを自分が学びとれるかどうか確かめてみたかったからだ。死ぬときになって、自分が結局は生きてはいなかったことを発見するようなはめには陥りたくなかったからだ。

では彼のウォールデン湖畔での暮らしぶりは、どのようなものだったのであろうか。夏は、オーロラの光で目覚め、ウォールデン湖で沐浴する。その後、小屋の前の緑したたる木の下で、簡単な朝食を作って食べる。午前中の涼しい時間は、思索や読書、執筆にあてられた。暑い日の2、3時間は、森の中に切り開いたソラ豆、ジャガイモ、トウモロコシなどの畑の草取りをして過ごした。その他にも、彼は土地測量や大工仕事などをして生計を立てていた。暇ができると、森や野原、川や湖のほとりを歩き回って自然観察し、記録した。秋になると、リスたちと同じように、森の木の実や野生の果実などを採集した。農作物を収穫し、暖房を準備し、冬の到来に備えた。冬の間、ウォールデン湖は厚い氷に閉ざされる。やがて3月を迎えると、氷がゆるみはじめ、一気に春が訪れる。こうして本書は、春を迎える喜びの言葉で閉じられている。

このように、ソローは四季の移り変わりを通じて、森や湖に聞こえるさまざまな音に耳を傾け、自然の営みの中で人間のあるべき姿について思索している。自然と環境をめぐる問題が大きくクローズアップされる今日、自然と人間とのよりよい関係について考えることはあながち無駄ではないだろう。本書を通じて、是非ソローとの対話

を試みてほしい。彼の言うことをすべて理解しようとすることは、困難かもしれないが、何か有益なことを学べるはずである。



## 研究生活

電気情報工学科 西尾 公裕

私は、昨年度まで愛知県豊橋市にある豊橋技術科学大学で、学生をしていた。そこでの生活は、研究に縛られていたといってもよいだろう。私の研究は、動画像を実時間で処理することができる集積回路（チップ）を実現することである。自分で考えたことが物になり、それが正常に動作したときは、パチンコで7が3つ並んだとき以上の感動があった。また、良い結果が出れば、学会発表（半分は旅行？）などの楽しいオプションがついてくる。こんなに楽しいこと、これから先もやめることはないだろう。だから、学生時代は“勉強”といった感覚はまったくなく、趣味の1つとして研究をしていたように思える。

さて、今回紹介する本は、自分の研究生活を見つめなおしたいと思っていたときに出会った一冊である。この本は、著者の研究に対する熱い思いが書かれており、私と研究分野は異なるが、とても共感できる部分が多かった。この本のタイトルは、

『理系のための研究生活ガイド テーマの選び方から留学の手続きまで』坪田一男著

ここでは、本校の学生に役立ちそうな3つの項目の紹介と、これらに関する私の体験などを述べたいと思う。

### 1. ポスを選ぶ条件

ポスを選ぶ条件とは？つまり研究室を選ぶ条件である。先生を好きになれるか？卒業できる確率が高いか？卒業生は成功しているか？テーマに興味を持てるか？自由度は高いか？などの条件が書かれていた。みなさんは、どれを選びますか？

私が高専のときは、先生を好きになれるか？で選んだと思う。ただ、その場は楽しかったが、何か物足りなさも感じたのは事実である。

大学では、研究室配属されるときに、1つの研究室の人气がなく、その研究室をアミダくじで決めることになった。そこで、私は負けてしまい、昨年まで所属していた研究室に配属させられることになった。ただ、研究テーマが非常に興味深かったおかげで、学部、修士、博士課程の6年間、楽しい生活をおくらせてもらった。アミダくじには負けたが、勝負には勝ったのではないかと6年経って感じている。

上で挙げた項目の中で重要なのは、“テーマに興味を持てるか？”ではないかと私は思う。これは私の勝手な意見なので、ポスを選ぶ条件を研究室に配属される前の4年生以下の学生に読んでもらいたい。そして、よく考えて研究室を選んでいただきたい。

### 2. 研究のための知的時間管理法



本書では、研究するためには（研究だけではないと思うが）、計画を立てることが重要であることが書かれている。最終的なゴールを決めて、そのゴールに向かうために、1年、1ヶ月、1日の計画を立てることの重要性が書いてある。

私も博士課程進学と同時に、1年計画を立てることにしてみた。計画を立てるのに1週間ぐらいかかったことを覚えている。この1週間をもったいないと感じる人もいるかもしれないが、計画を立てることで、やるべきことに迷いがなく、スムーズに研究できたと感じている。今思えば、計画を立てるまでは、だらだらと過ごしていたと思う。非常にもったいない時間を使ったと、現在反省している。

本書では、自分のことをよく知ることが、計画を立てる上で重要であると書いてある。自分の性格、生活習慣などを知ること、計画を立てやすいということは、私も感じている。

3. 失敗は大きな成功の過程と考える。失敗からテーマを広げていく。

本書では、ある程度の失敗は、良い事のように扱われている。私もよく実験などに失敗してきたので、そのように考えている。よく考えると、うまくいった実験ほど、それをやったことすら忘れているときがある。失敗した実験ほど、“なぜ失敗したか”など長い時間考えるため、よく覚えているものだ。

研究では、成功よりも失敗の方が多い。その失敗を1つずつきちんと対処できる人が、研究者として成功するのではないかと私は思っている。また、何事においても、“1つの失敗は、それ以上の財産になる”と私は考えている。

以上が、私の紹介したかった本書の項目である。本書には、その他にも論文を書くコツ、学会、留学についてなどの興味深いことが書かれている。

今年度、本校に赴任して、学生時代のような自由な時間があまりないことを痛感している。1日24時間が短いと思うことがよくある。現在、私は本書の「研究のための知的時間管理法」をもう一度、読んでいます。2004年6月4日現在、今の私の研究題目は、“研究時間はどのように確保することができるか？”である。



## さわやかさ・刺激・苦勞が味わえる本たち

機械工学科 森田 慎一

本を読むようになったのは高校生の頃ですが、年齢を重ねるごとに好きなジャンルが変わってきました。高校・大学生の頃は軽い内容の本が好きでしたが、近頃は歴史小説を多く読んでいます。大人になるにつれて興味の対象も変わりますし、好きなストーリーは人それぞれです。そこでタイプの異なる3冊の本を世別に紹介したいと思います。

1. さわやかな気分になれる、なぜかやる気が出てくる本、

本科生にお勧めの本

### 高橋 三千綱 『九月の空』

入学前から高校剣道部の練習に参加するほど、剣道に打ち込む高校一年生のお話し。同級生に誘われた主人公勇は、女の子をおとりに使って痴漢退治に出かけます。まんまとおとりに引っ掛かった痴漢は大学生の二人組み、勇の同級生に死んだかと思うほど殴られて.... というような内容の短い話です。気軽に読んでみてはいかがでしょうか。

2. スピード感と刺激を味わえるが不快な本、本科上級生にお勧めの本

### 村上 龍 『コインロッカーベイビーズ』

コインロッカーに捨てられて生き残った二人の少年キクとハシは、心に病をもったまま養子として育てられます。キクは、自分を捨てた母親を銃で殺し少年院へ送られるが、人を殺人鬼に変貌させる薬「ダチュラ」をばら撒くために脱走する。

グロテスクで悲劇的で異常で刺激の強い内容です。著者は、読者に不快感を与えることを狙ったのではないかと思います。厚い本ですが、19歳だった私は一気に読んでしまったことを覚えています。

3. すごい人が出てくる本、世代では本科上級生、専攻科生にお勧めの本

### 司馬 遼太郎 『胡蝶の夢』

長崎に開かれた医学校で、はじめて系統的に医学を学んだ日本人たちの幕末から明治にかけての話です。この本には三人の主役がいます。

一人目は、伊之助。佐渡島出身で一度読んだ本はそっくり暗記できる能力の持ち主。語学の天才でオランダ語、英語、ドイツ語のほかにも中国語もできたそうです。しかし、他人との協調性にひどく乏しく誤解され不遇な時期が長い人です。

二人目は、松本良順。長崎に医学校を開く事に尽力した人物です。伊之助に目を掛けて、長崎に来るように仕向けます。

三人目は、関寛斎です。この長い小説の最後の方まで読まないで登場しない人物ですが、とても魅力がある上に壮絶な人生を送った人です。明治維新の官軍の野戦病院長をするなどして、明治政府の重要なポストにつけるにもかかわらず、全てを投げ打った生活を貫きます。さらに、72歳にして北海道開拓に向かいます。冬の氷のあった川でも毎日水浴びする生活を続ける強い精神であるにもかかわらず、82歳にして自殺しています。大規模農場の方針をとる息子との意見のくい違いが原因といわれています。

とても長い話ですが、最後まで読むと医学標本の髑髏（ドクロ）の話に感激します。この髑髏は、北海道足寄郡陸別町の関寛斎記念館に展示されています。その方面へ旅行する方は、この本を読んでから行くといいでしょう。

# ●●●●● 米子高専文化セミナー報告 ●●●●●

米子高専文化セミナーは、今年度からビデオに撮影して、図書館にDVDで保存することになりました。貸出も可能です。

5月15日、公会堂中ホールにて、第1回文化セミナーが開催されました。講師は電気情報工学科の千葉敦生先生で、「電磁波の人体に与える影響」という演題で話を頂きました。講話の内容は、人々の関心を集めている送電線電磁波問題の流れと現状、そして今までに先生が行われた実験と理論解析の結果などを中心としたものでした。

電磁波は人体への影響の可能性があるということから、多くの公聴者から質問が寄せられました。先生はそれに丁寧に答えておられました。

今年度は6月26日(土)、10月23日(土)、11月27日(土)に開催です。皆様のご参加をお待ちしています。 (5年電子制御工学科 長谷部麻耶)



## 新着図書を紹介

学生によるブックハンティングから

学生図書委員が書店まで出向き、手にとって選んできた本の中から紹介します。

### 電子制御工学科5年 長谷部麻耶

陰陽師 夢枕 獏 文藝春秋  
感動する英語 近江 誠 文藝春秋

### 機械工学科4年 門脇 望

認知心理学 道又 爾 有斐閣

### 電子制御工学科4年 廣田 麻衣

石に泳ぐ魚 柳 美里 新潮社  
蛇にピアス 金原ひとみ 集英社  
解夏 さだまさし 幻冬舎

### 物質工学科4年 松下 由佳

海猫宿舎 長野まゆみ著 光文社  
トリック 蒔田光治 角川書店

### 電気工学科3年 笹間 友寛

マリア様がみてる 今野緒雪 集英社

### 物質工学科3年 生田 寛子

蹴りたい背中 綿矢りさ 河出書房新社  
きみの知らないところで世界は動く 片山恭一 ポプラ社

### 建築学科3年 松本 格

死の壁 養老孟司 新潮社  
「建築学」の教科書 安藤忠雄 彰国社

### 電気工学科2年 高橋 裕也

仮面ライダーがエントリの上立った日 奥中惇夫 筑摩書房  
R.P.G. 宮部みゆき 集英社

### 電子制御工学科2年 野田 祥子

黄金の戦女神 茅田砂胡 中央公論社

### 物質工学科2年 藤田 誠実

叫ぶ!Cプログラマ 藤本裕之 ソーテック社

### 建築学科2年 前田 佳寛

空のレンズ 片山恭一 ポプラ社  
天路 宗田 理 講談社

### 電気情報工学科1年 關 さゆり

都会のトム&ソーヤ はやみねかおる 講談社  
アルケミスト パウロ・コエリヨ 地湧社

### 電子制御工学科1年 山道 一輝

今さら他人には聞けない疑問パート3 エンサイクロネット編 光文社

### 物質工学科1年 田原 由樹

懐かしい日本の言葉ミニ辞典 藤岡和賀夫 宣伝会議  
食いものの恨み 島田雅彦 講談社

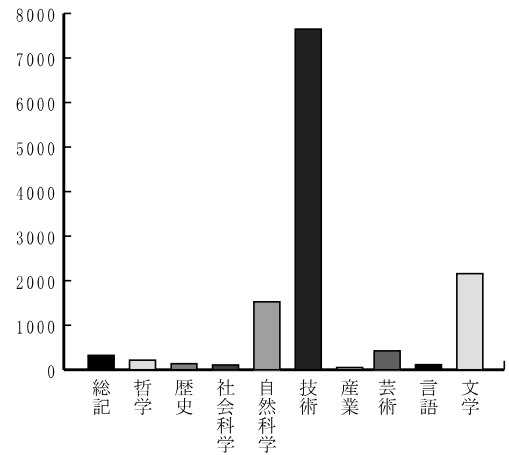
### 建築学科1年 生田 美樹

リ・セット 魚住直子 講談社  
センセイの鞆 川上弘美 平凡社

## 図 書 館 統 計

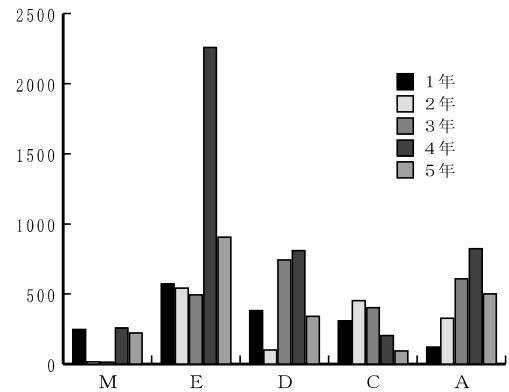
### 1. NDC分類別貸出冊数・貸出率（平成15年度）

分 類	貸出冊数	順位	分 類	貸出率(%)
0：総記	327	1 位	5：技術	60.1%
1：哲学	221	2 位	9：文学	17.0%
2：歴史	138	3 位	4：自然科学	12.0%
3：社会科学	110	4 位	7：芸術	3.3%
4：自然科学	1,527	5 位	0：総記	2.6%
5：技術	7,649	6 位	1：哲学	1.7%
6：産業	51	7 位	2：歴史	1.1%
7：芸術	426	8 位	8：言語	0.9%
8：言語	119	9 位	3：社会科学	0.9%
9：文学	2,160	10 位	6：産業	0.4%
合 計	12,728	合 計		100.0%



### 2. 平成15年度学生利用状況(学年・学科別貸出冊数)

	M	E	D	C	A	合計
1 年	247	572	381	307	121	1,628
2 年	17	543	100	452	327	1,439
3 年	14	493	743	402	608	2,260
4 年	257	2,259	810	204	824	4,354
5 年	223	906	341	94	501	2,065
合計	758	4,773	2,375	1,459	2,381	11,746



### 3. 平成15年度学生貸出冊数ベスト9誌

順 位	貸出回数	書 名	著 者	出 版 社
1 位	27 回	キノの旅 6（電撃文庫）	時雨沢恵一	メディアワーク
2 位	25 回	Missing 7（電撃文庫）	甲田学人	メディアワーク
3 位	24 回	風の海迷宮の岸 下（講談社X文庫）	小野不由美	講談社
4 位	23 回	風の万里黎明の空 上（講談社X文庫）	小野不由美	講談社
5 位	16 回	キノの旅 The beautiful world（電撃文庫）	時雨沢恵一	メディアワーク
5 位	16 回	理解しやすい数学2（シグマベスト）	藤田 宏	文英堂
5 位	16 回	Missing 合わせ鏡の物語（電撃文庫）	甲田学人	メディアワーク
8 位	14 回	ハリー・ポッターと炎のゴブレット	J.K. ローリング作 松岡佑子訳	静山社
8 位	14 回	世界の中心で、愛をさけぶ	片山恭一	小学館

（雑誌・専門図書を除く）

## 平成16年度 学生図書委員一覧

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
M 科	石橋利恵子 *	島田 和史 **	阿部 勝世 **	門脇 望 **	永井 龍一 **
E 科	關 さゆり *	高橋 裕也 *	笹間 友寛 **	○ 山本 峰至 **	上田 洋祐 **
D 科	山道 一輝 *	野田 祥子 **	西嶋 沙織 *	◎ 廣田 麻衣	長谷部麻耶 *
C 科	田原 由樹 *	藤田 誠実 *	生田 寛子 *	○ 松下 由佳 *	大河内健吾 **
A 科	生田 美樹 **	前田 佳寛 **	松本 格 **	赤木 亮介 **	勇 良輔 **
◎委員長 ○副委員長 *「とよぶらり」担当 **高専祭企画担当					



平成16年度（第31回）

# 校内読書・エッセイコンクール応募要項

- 米子高専の学生であれば「読書感想文の部」「エッセイの部」いずれにも応募できます。
- 読書感想文、エッセイともこれ以外の題目でもかまいません。

## ☆読書感想文の部

### 推薦図書

芥川龍之介	河童	新潮文庫	井伏鱒二	黒い雨	新潮文庫
スタインベック	二十日鼠と人間	新潮文庫	金原ひとみ	蛇にピアス	集英社
司馬遼太郎	竜馬がゆく	文春文庫	カフカ	変身	新潮文庫
夏目漱石	こころ	新潮文庫	吉本ばなな	TUGUMI (つぐみ)	中公文庫
綿矢りさ	蹴りたい背中	河出書房新社	吉川英治	宮本武蔵	講談社
太宰治	人間失格	新潮文庫	安部公房	砂の女	新潮文庫
カミュ	異邦人	新潮文庫	宮沢賢治	銀河鉄道の夜	新潮文庫
J.K. ローリング	ハリー・ポッターと賢者の石	静山社	大岡昇平	野火	新潮文庫
*ヨースタイン・ゴルデル	オレンジガール	日本放送出版協会	*小川洋子	博士の愛した数式	新潮社
*北篤	正伝野口英世	毎日新聞社			

\* 第 50 回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

## ☆エッセイの部

以下の題目から一つ選んで、日頃自分の考えたり、思ったりしていることを自由な発想で書いてみてください。

- 私の夢
- 正義とは何か？
- ずっと疑問に思っていること
- 戦争と平和を考える
- 地球環境とわたしたちの未来
- 自由と勝手はどうちがうのか？
- 本当の友達とは？
- 「恋愛」について
- やがて大人になるということ
- コンピューターと人間
- 国際化時代の生き方

**実施期間**：夏休み

**字数**：両部門とも縦書き原稿用紙（400字詰）5枚以内

**締切**：9月1日（水）

**提出先**：各クラス図書委員が集めて担任へ（専攻科生は直接図書館まで）

**審査**：第1次審査（～9月8日（水）：クラス担任により部門ごとに5編以内を選定）

：第2次審査（～9月15日（水）：第1次審査選定作品の中から候補作品を選定）

：最終審査（～9月24日（金）：図書館情報センター委員会において最優秀・優秀作品を決定）

**審査委員**：図書館情報センター長、副センター長、センター長補、図書館情報センター委員、国語科教員

**表彰**：部門ごとに、最優秀賞1編、優秀賞1編、佳作数編

**賞状および副賞として図書券**：最優秀賞 1万円券、優秀賞 5千円券、佳作 2千円券

**表彰式**：11月中

**作品掲載**：優秀作品は「としょぶらり」誌（78号）に掲載

☆ 1～3年のうち、読書感想文の優秀作品は全国学校図書館協議会および毎日新聞社主催「第50回青少年読書感想文全国コンクール」の地方審査への応募も兼ねます。地方審査で優秀作品に選ばれると中央審査委員会で審査を受けることになります。

## 対象図書

第1類（フィクション）童話、小説、民話、神話、伝説、戯曲、詩歌など。

第2類（ノンフィクション）哲学、歴史、地誌、社会科学、自然科学、産業、芸術、スポーツ、語学、評論、伝記、随筆、紀行、生活記録、作文集、年鑑などの第1類以外の図書。

第3類（主催者の指定した図書）上記の推薦図書のうち、\*がついたもの。

☆ エッセイの部の優秀作品は、校外コンクールに応募することもあります。